

150年前から広まる“珈琲”

津山藩医・蘭学者

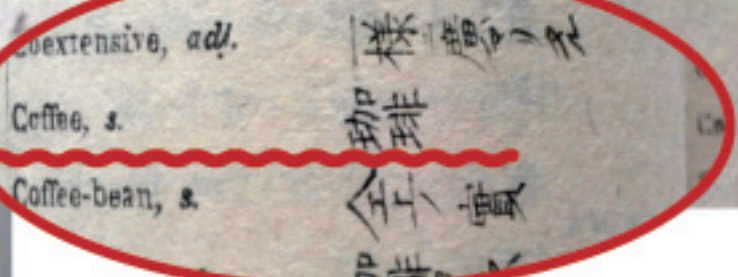
日本初の辞典に宇田川榕菴の作字

宇田川榕菴生誕220年記念展

津山では慶応から『コーヒー』は『珈琲』だった展

会期 平成30年6月9日 **土** ~ 22日 **金**

「珈琲」の字は
津山藩発祥



◀英和対訳袖珍辞書（慶応3年版）

今展では、津山松平藩より中島家へ下賜された貴重な日本最初の英和辞書である英和対訳袖珍辞書（堀達之助編）を展示。津山藩の箕作麟祥も編纂に携わった辞書の収録語数は3万5千語にのぼる。展示する慶応3年版にコーヒーは「珈琲」と表記されており、宇田川榕菴の考案した珈琲の字が慶応期には既に代表的表記になっており、辞書が津山藩から中島家へ下賜されていることから当時の津山でもコーヒーは「珈琲」と解されていたことが分かる貴重な一冊。

「遠西医方名物考補遺」（宇田川榕菴著、実物）

「菩多尼訶経」（再版）

「和蘭内景医範提綱」（宇田川玄真著、幕末写本）

貴重な文献・パネル多数

お問い合わせ先

国登録有形文化財 大正6年(1917)築
城西浪漫館
Josai Romance Hall

津山市田町122番地(中島病院旧本館)

☎ 0868-22-8688

月曜日休館(祝日の場合は翌日)

アクセスMap



※JR津山駅からごんごバス小循環線「中島病院前」から徒歩0分